

投資事業再評価調書（継続）

部課室名	農林水産部農水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農地整備課長 板井 丈夫 (盛 健二)	内線	4003 (4014)
------	--------------------	---------------------	---------------------------	----	----------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区間	総事業費	約23億円
		県営ほ場整備事業 (担い手育成型)	八多地区	内用地補償費	約1億円
所在地			事業採択 年 度	着工年度	完成予定 年 度
神戸市北区八多町			H4	H4	H15
			進捗率 (内用補進捗率)		
			94.0%(79.8%)		

事業の目的		事業内容			
<p>本地区の地形は小起伏丘陵地で、大部分が棚田であり、区画も小区画・不整形で、用排水路・農道等が未整備なため、営農に多大な時間を要し、不安定な農業経営を強いられていた。</p> <p>ほ場整備により、耕地の区画形質の改善、用排水路や農道等の整備、農地の集団化等を総合的に実施することによって、農業経営の安定化を図る。</p>		<p>区画整理 93ha</p> <p>関連事業 2級河川八多川改修工事 準用河川八多川・八坂川・北八坂川改修工事 県道山田三田線道路改良工事等</p> <p>工事費の負担割合 (国：50%、県：27.5%、市：15%、地元：7.5%)</p>			

進捗状況	<p>本地区は、優良農地を確保するため、地元施工による公共残土等を活用して基盤盛土を行った後、ほ場整備を実施しているが、社会情勢等の変化に伴い公共残土が減少し盛土用土の確保に時間を要したことから、事業工期が当初工期より遅れていた。</p> <p>しかし、面工事も平成12年度で完了したことから、平成13年度以降は換地処分に向けた作業を行い、平成15年度には事業完了の予定である。</p>
------	---

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>当地区は、水稻、酒米を中心に都市近郊の立地条件を生かして、ねぎ、すいか、トマト等の野菜を生産しているが、現況の農地は小区画かつ不整形で、用排水路・道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要している。</p> <p>このような状況のなか、農業経営の安定及び地域の活性化を図るためには、本事業により、区画形質の改善、用排水路、農道等の整備、並びに換地による農地の集団化等を総合的に実施し、併せて担い手への農地の集積を促進し、生産性の高い農業構造を実現する必要がある。</p>
(2)有効性・効率性	<p>投資効率1.03、所得償還率7.8%であり、事業としての効果が十分に期待できる。</p> <p>ほ場整備事業のなかで河川・道路の用地を創設するなど、効率的な整備を行っている。</p>
(3)環境適合性	<p>周辺地域で発生する公共残土を受け入れるとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど環境保全に努めている。</p>
(4)優先性	<p>営農に多大な時間と労力を要している本地区においては、ほ場整備事業により農業経営の安定、地域の活性化を図るとともに、河川・道路事業との一体的な整備を進めており、早期に事業完成する必要がある。</p>

評価の結果	継続妥当	左の理由	上記内容により継続が妥当と認められた。
-------	------	------	---------------------